

製品名: KSR1 (5X11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13144**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	102kDa

抗原情報

遺伝子名	KSR1
別名	BKSR1; dKsr; EK31; KSR; KSR1; RSU2; SR31;
遺伝子 ID	8844.0
SwissProt ID	Q8IVT5
免疫原	ヒト KSR1 の合成ペプチド

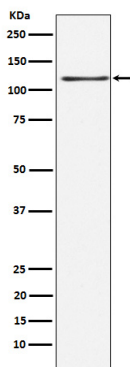
背景

MEK を RAF に結びつける、位置制御型の足場タンパク質。活性化シグナル伝達複体の組み立てを通じて、MEK および RAF のリン酸化と活性を促進する。単独では、実証されたキナーゼ活性はない。Raf ファミリーメンバーのリン酸化と下流の MAP キナーゼの活性化を促進する多タンパク質シグナル伝達複体の一部である（類似性による）。キナーゼ活性とは独立して、BRAF の MAP2K1/MEK1 および MAP2K2/MEK2 依存性アロステリック活性化因子として作用する。MAP2K1/MEK1 または MAP2K2/MEK2 に結合すると、BRAF と二量体を形成し、BRAF を介した MAP2K1/MEK1 および/または MAP2K2/MEK2 のリン酸化を促進する (PubMed:29433126)。EGF および cAMP の両方に反応して、MAPK1 および/または MAPK3 の活性化を促進する（類似性による）。キナーゼ活性は不明です（類似性に基づく）。in vitro においていくつかのタンパク質キナーゼ活性が検出されていますが、この活性の生理学的関連性は不明です（類似性に基づく）。

研究分野

-

画像データ



HEK293 細胞溶解物中の KSR1 発現のウェスタンプロット解析。